鳥栖公民

第4号（特輯号）　昭和30年1月1日発行

発行所　鳥栖市中央公民館
佐賀県鳥栖市（電話534）

発行人　佐藤一郎
編集人　宮原真見
印刷人　松尾和一

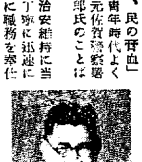
鳥栖警察署長　桂城英次

「汝の魂は、民の骨血」これは、私の青年時代よく聞かされた、元佐賀県警察部長、竹本鹿太郎氏のことばである。

特に民衆の治安維持に当る者は、親切丁寧に迅速にそして良心的に職務を奉仕せよと青年警察官を諭されておった氏のことは、これが既に三十年前のことであるだけに今更ら新しい至言として氏の人格と共に常に思い起される忘れ得ぬことばである。

市民総親和の年

助役　吉川元秋



世界を二分する冷ソ両国家群の間にも、最近平和の機運が動き始め、長閑な清明の裡に新春を迎えることは無計画な借金政策を重ねて政府でもなければ県でもなく、市民自身であることを自覚して頂き度いのです。

市と云う自治体を健全に発展させてくれるものは、市民自身の自覚と自治精神と自力更生の精神に徹つてみせますよッと全財政を凝縮して、都手なことは誰にでも容易に出来ることで、親子心中を図るのことで、別に喜ぶ程のことではない。と云つてしまえば味も素っ気もなくなりますが、一つの締括りをつけると云う意味に於て、強い元旦に意義を見出したいと思います。

新市ができたらバスが通るそうだ、公会堂も建てられるだろう、公民館も部落ごと造つて貰えるそうだ等々砂糖期間に砂糖をまぶしたような期待の中に誕生した市であるだけに、今頃そのいい等と考えている人が何も出来ませんとやなかか云う通説の言葉を耳にすると、率直な気持に陥れたようで、ッ今きっと期待に応えつつ新年を迎えることは誰にも容易に出来ない等と考えている人があるとすれば、そんな甘い考え方は先ず捨てて頂きたいと思います。

現在の税金は市民の皆様にとりまして決して楽な金額ではありません。担税能力の限界線に来ているのこの上二割の増税など到底考えられないことです。健康を下さることのできる精神が即ち総親和の精神である反面借金のみ引継がれて、市政の運営にやりくり算段の為に苦れる執行部としては無計画な借金政策を重ねて理解して頂き度いのです。

発展させてくれるものは、政府でもなければ県でもなく、市民自身であることを自覚して楽な金額ではありません。担税能力の限界線に来ているのこの上二割の増税など到底考えられないことです。健康を下さることのできる精神が即ち総親和の精神である反面借金のみ引継がれて、市政の運営にやりくり算段の為に苦れる執行部としては無計画な借金政策を重ねて理解して頂き度いのです。

市と云う自治体を健全に

賀新年〈紙上〉名刺交換

縣議会議員（イロハ順）

鳥栖市田代町　緒方浩四郎
〃　大正町　笠井定雄
〃　轟木　安原謙市

市議会議員（議席順）

議長　大島英一
副議長　門司伝次郎
総務常任委員長　前間安
高尾伝次郎
徳淵格市
久保山鹿蔵
白水松次
天本耐三
西依忠蔵
高尾繁造
大石勝二
柴藤行男
文教常任副委員長　堀田充
寺門益造
古賀政太郎
建設常任委員長　黒田辰市
建田政三郎
小石龍門
牟田モト
松雪子之吉
大石喜代太
商工常任委員長　西依太七
財務常任副委員長　久保山幸太郎
今泉政雄
羽根卯三郎
平塚繁太郎
立石霧樹
杉隈良一
香月喜四郎
片田忠雄
横尾政勝
建設常任副委員長　戈臣広吉
高田一夫
牛島伊之吉
天本義人
横尾貞美
鶴池竹次郎
安原俊雄
石丸富蔵
石田善人
大石人
原伝吾
松隈直助
緒方
鵜田文次
築地喜久次
高尾保巳
伊東貞
高原惣二
豊嶋みよ
高口由松
厚生常任委員長　商工常任副委員長
総務常任副委員長
西山栄造
石丸栄吉
喜木一二三
平山寅喜
篠原勘四郎
原新次
松田安
農林常任委員長　服部三四郎
齊藤武夫
井下喜惣次
古賀定雄
古沢隆一
建設常任委員長　陶山儀市
岡村吉男
今泉喜男
池尻孫市
横尾正美
古沢儀一
立石茂吾
厚生常任副委員長　齊藤清次郎
佐藤源次郎
小山路大作
中島金次郎
田弘道
文教常任副委員長　西依兵作
成富吉蔵
文教常任委員長　原岡壯鹿
久保亥之吉
農林常任副委員長　中富正義
山下滝次郎
白水兵次郎
岩橋富蔵
大島武一郎
仁田常市
丸山正人
藤田善造
財務常任委員長　石喜三郎
城戸安次
佐藤政吉
古賀泰雄
磯野哲
手島茂三郎
松田九一郎
市議会事務局長　日山正人
篠原真
松雪久子

官公衙・團体（受付順）

鳥栖保健所長　片淵秀雄
佐賀地方法務局　田中健郎
鳥栖出張所長　森口慶武
鳥栖簡易裁判所判事　石司郎
佐賀県農協連　伊東光次
佐賀基支所長　牛島倉吉
三栖町農業協同組合長　牛田口武一
鳥栖登記所司法書士
鳥栖駅長　篠田善詮
鳥栖駅主席助役　原憲治
鳥栖機関区長　山岸仁三郎
鳥栖機関区長　中川原利作
鳥栖土木出張所長　野田福市
鳥栖商工会議所会頭　村田壽作
副会頭　宮崎茂磨
〃　書記　滝本卯六
〃　古賀茂雄
〃　鳥栖労政事務所長　古賀芳衛
鳥栖職業安定所長　宮口
鳥栖警察署　署長　桂城栄次
警視　江下日齊男
次席警部　今村房吉
捜査係警部　池内海佐太郎
警備係警部　大坪華人
交通係長警部　前山一男
警部補　永長円
防犯係長　立石茂吾
警部補　岩外署員一同
佐賀中央銀行　御厨真一郎
鳥栖支店長代理
〃　佐賀興業銀行　大隈繁雄
〃　鳥栖支店長　山口春雄
〃　西日本相互銀行　須藤捷夫
〃　鳥栖支店　笠井一也
〃　管理部作業課長　馬場崎悦次
〃　総務部長　中村力
〃　専売公社鳥栖工場長　西迫薫
〃　鹿児島郵便局長　林田繁
〃　鹿務会計課長　徳淵芳治
〃　郵便課長　松尾勝次
〃　貯金保険課長　安岡純太郎
〃　門鉄鳥栖職員養成所長　萩尾健次
〃　講師　杉原逞蔵
鳥栖市連合婦人会　大森きみ
〃　広尾かつ
〃　舟木まつえ
〃　大石とくえ
〃　中富文子
〃　江崎とみ
〃　中川原若尾
島ノ内文枝
〃　鳥栖高等学校長　日野一雄
〃　教頭　大石もも
〃　定時制主事　多久島千代次
〃　職業指導主事　篠原正一
〃　鳥栖工業高等学校長　吉次重明
〃　教頭　日野
〃　定時制主事　森弘
〃　職業指導主事　松雪信三
〃　教頭　山口隆貫
〃　鳥栖中学校長　陶山光
〃　教頭　原聰雄
〃　鳥栖工業学校長　権藤哲造
〃　教頭　田代
〃　基里中学校長　薬師浩豊
〃　教頭　長浜栄
〃　旭中学校長　大木勝巳
〃　教頭　塚原猶繁
〃　鳥栖小学校長　小野英章
〃　高尾正人
〃　滝本卯六
〃　古賀茂雄
〃　書記　古賀芳衛
〃　鳥栖警察署　署長　桂城栄次
警視　江下日齊男
次席警部　今村房吉
捜査係警部　池内海佐太郎
警備係警部　大坪華人
交通係長警部　前山一男
警部補　永長円
防犯係長　立石茂吾
警部補　岩外署員一同
佐賀中央銀行　御厨真一郎
鳥栖支店長代理
〃　佐賀興業銀行　大隈繁雄
〃　鳥栖支店長　山口春雄
〃　西日本相互銀行　須藤捷夫
〃　鳥栖支店　笠井一也
〃　管理部作業課長　馬場崎悦次
〃　総務部長　中村力
〃　専売公社鳥栖工場長　西迫薫
〃　鹿児島郵便局長　林田繁
〃　鹿務会計課長　徳淵芳治
〃　郵便課長　松尾勝次
〃　貯金保険課長　安岡純太郎
〃　門鉄鳥栖職員養成所長　萩尾健次
〃　講師　杉原逞蔵
鳥栖市連合婦人会　大森きみ
〃　広尾かつ
〃　舟木まつえ
〃　大石とくえ
〃　中富文子
〃　江崎とみ
〃　中川原若尾
島ノ内文枝

会社・工場（受付順）

〃　製造課長　原田克己
〃　経理課長　鹿野本枝
〃　工作助力係長　田中直治
〃　保健主任　橋本基
〃　常務取締役　笠井一三郎
〃　常務取締役　仲明
〃　ABC製菓工場長　福原唯芳
〃　常務取締役　神原義孝
〃　取締役　山本甫
〃　経理課長　津田要四郎
〃　川島貞一
〃　入谷哲雄
〃　城本守人
横田エミカ
大石もも
多久島千代次
日野一雄
篠原正一
吉次重明
洞上毒
山口隆貫
森弘
松雪信三
陶山光
権藤哲造
薬師浩豊
田
浜栄
平田義英
田中義道
大木勝巳
塚原猶繁
小野英章
高尾正人
滝本卯六
古賀茂雄
古賀芳衛
桂城栄次
江下日齊男
今村房吉
池尻孫市
大坪華人
前山一男
永長円
立石茂吾
岩外
佐藤源次郎
小山路大作
中島金次郎
田弘道
西依兵作
成富吉蔵
原岡壯鹿
久保亥之吉
中富正義
山下滝次郎
白水兵次郎
岩橋富蔵
大島武一郎
仁田常市
丸山正人
藤田善造
石喜三郎
城戸安次
佐藤政吉
古賀泰雄
磯野哲
手島茂三郎
松田九一郎
日山正人
篠原真
松雪久子
横田エミカ
大石もも
多久島千代次
日野一雄
篠原正一
吉次重明
洞上毒
山口隆貫
森弘
松雪信三
陶山光
権藤哲造
薬師浩豊
田
浜栄
平田義英
田中義道
大木勝巳
塚原猶繁
小野英章
高尾正人
滝本卯六
古賀茂雄
古賀芳衛
桂城栄次
江下日齊男
今村房吉
池尻孫市
大坪華人
前山一男
永長円
立石茂吾
岩外
佐藤源次郎
小山路大作
中島金次郎
田弘道
西依兵作
成富吉蔵
原岡壯鹿
久保亥之吉
中富正義
山下滝次郎
白水兵次郎
岩橋富蔵
大島武一郎
仁田常市
丸山正人
藤田善造
石喜三郎
城戸安次
佐藤政吉
古賀泰雄
磯野哲
手島茂三郎

賀正

第一優良商店會

事務所　鳥栖市西町　電話21番

古田坂陶器物店　八幡陶器店　高橋陶器店　佐賀陶器店　小森陶器店　森陶器店　みやま陶器店　平岡陶器店　高橋陶器店　佐藤陶器店　平田陶器店　宮崎陶器店　と商店　ふくと商店　古賀商店　長谷川商店　松本商店　すぎ商店　と衣料品店　貿易商会　能美商会　林商会　タス商会　西山商会　大原商会　ミヤシ商会　久保商会　酒井商会　泊商会　富田商会　瀬戸製作所

謹賀新春

1955・1・1

鳥栖市役所・鳥栖市役所・鳥栖市役所・鳥栖市役所・鳥栖市役所
鳥栖市福祉事務所・鳥栖市教育委員会・鳥栖市農業委員会・鳥栖市議会事務局・鳥栖市中央公民館
鳥栖里代
基田麓旭

寄附芳名

金一万円也　鳥栖市鳥栖一〇九三　今泉貞雄殿
金三千円也　鳥栖市新町　吉竹宇策殿
金五千円也　永瀬寛一　龍町婦人会殿
金四千円也　鳥栖市駅前　橋本キン殿
金二万円也　鳥栖市本町　古賀精純殿

一般

鳥栖町（配落順）

◎一区（嘉太）
区長　長熙崎金家
明善高校教諭　陣内幸雄
農具製造修理　中島尚
民生委員　吉田熊一　松永新蔵

◎二区（元瓜生野）
区長　長松隈丑太郎
民生委員　菅原賢七

◎三区（今町）
区長　古賀茂
島栖中育友会副会長　松本勝子
建設業　小林建設
吉轉車販売業　松田伊和見
製桶・樽・祭具・折箱店　成富松次
医師　橋本正
納税貯蓄組合親交会　久保山六郎
合資会社三やき酒場　松本伊雄

◎四区（本町）
区長　吉田耕作
合資会社水田屋食品社　水田安市
岡本駒次郎

◎六区（藤木）
区長　石丸富蔵
ふじのや食堂　松隈たばこ屋
民生委員　森金作　石丸早見　今村佐一郎

◎十区（東町）
陶器商　長木原茂吉
八坂富次郎
藤崎組　建設業　下岸柾雄

原田商会代表　原田万蔵

◎十一区（本通り）
区長　長岩橋勝盛
歯科医師　栗山融作
〃　林健治　栗山晋治

◎十二区（古野・大正町）
歯科医師　大原医院
朝日新聞専売所　今村新開舗
木村家パン　石原慶三
日山医院　日山実代
水月枝　吉辰海

区長　大塚健吉
天野鶏肉店　天野六郎
西原常一
タカオ洋服店　高尾平八郎
朝日新聞鳥栖通信局　芹川昇治
西部石炭鳥栖販売所　横本博文

◎十三区（駅前）
区長　長野上八郎
毎日新聞記者　佐伯朝春
民生委員　加藤義雄
旅館・母子連盟会長　岡すぎえ
富士屋旅館　牟田正二
有限会社下田音響堂　下田栄
新星劇場　日下部諌男
中央市場商店会長　滝本卯六
旅館キユーピー堂　日山源市

◎十四区
区長　有馬政一

田代町（受付順）

大字田代五七　古賀靖彦
田代温泉・泉館　稲葉照志
平田オフセット印刷　平田喜三
神辺　本村瑞応
永吉　区長　前川亀太
農業委員　緒方三次
永吉・日用品商　黒田森蔵
公民館運営審議委員　佐々木彦
基山中学校長　田代勝
田代町遺族会長　古賀小太郎
太田・安生庵　太田素真
安本光次郎

基里町（受付順）

原井東区長　林平
酒屋　長井上
桜町区長　西山秀
名和長徹

基里保育園長　小石龍門
飼料商　岩崎実良
高島正雄
高尾芳蔵
飯田区長　高尾静夫
鳥栖市農業委員　高尾周蔵
松原区長
原田農機具製作所　中島五十男
原田謙市
杉本ワラ切製作所　杉本信久
中原農具製作所　中原秀隆
繁蔵
曾根崎区長　嘉竹幼稚園
若竹
基里郵便局長　松雪才一郎
曾根崎
姫方区長　佐々木牧次郎
幡崎区長　牟田設三
鳥栖市南部地区副会長　鳥飼熊治
農業委員会副会長
小型自動車修理　原モータース
北島歯科医院　北島正二
三養基高等学校　磯野久次

麓町

鳥栖市民生委員　磯野定次
常務委員

旭町（受付順）

村田霧吉
農業委員会長　多々良兵司
肥前旭代理店主　村田二七二
日本生命保険　西村泰蔵
幸津農業委員　豊増忠夫
民生委員　豊増基次
宮原敏子
宮富造
土木建設富組　官原
興梠辰巳
鰐医師　池尻勝三郎
精米業　末永孝
牛島武人　末永商店
豊増利雄　末永
安良・武田商会　末永
旭消防団長　武田徹男
旭町消防分団長　末永
農業委員　寺崎泰行
旭中PTA会長　齊藤繁喜
久保好太郎
民生委員　岡精一
マツヨ

市役所関係

市長　海口守三
吉川元秋
助役　平川孝俊
総務課長代理　徳淵勇輔
庶務係長　松田元雄
税務課長代理　原次常
徴税係長　羽立俊男

徴税係　黒田武剣三
青木達人
原田武夫
渡辺直邦
緒方忠
宮川一郎
古川タ
猛
今村三千丈
古川辰己
権藤梅太郎
池田福見
久保敏明
坂根正登
古賀淳子
松隈幸実
原田忠
佐善雄
西大石大作
中山九八次
藤崎菊
佐田昇
篠原米一郎
成田藤四郎
加藤橘
松隈輝雄
山内政
天本清
古沢義之
宮原敏
官富造
興梠巳
土木建設富組
齊藤恒喜
佐藤和七
江崎忠蔵
福祉事務所
遠藤留吉
野口弘人
久保熊雄
立石勝次郎
関茂
重松卯三郎
原野秀雄
堤政治
香月悟
牛島文喜

鳥栖市教育委員会
委員長　賢雄
副委員長　中原虎雄
委員　古賀小太郎
〃　立石虎雄
〃　江頭一二三
〃　嘉木クニエ
（議会選出）
教育長　宮原佐一郎

協同組合
鳥栖専門店會

多良ミシン店
みづたや雑貨店
モリナガ本店
丸新洋品店
田中金物店
近藤陶器店
園田防水布店
日乃丸屋洋品店
下岸靴店
原田自轉車商店
藤本精肉店
岡時計店

宮原石炭店
立花屋洋服店
初村乳母車店
鶴田食料品店
牛島化粧品店
大塚桶店

吉原家具店
中村写真館
島屋文具店
豊増電器ガラス店
福山書店
下田楽器店

旧町村の決算を認定

十二月定例市議會

☆十二月の鳥栖の定例市議会は十五日から議会議事録で開催、予定☆通り六日間の会期をもつて旧関係五カ町村の決算をはじめ、追加☆予算案など多くの重要議案について慎重に審議され二十日に閉会☆しました。☆会期中は約五〇名の傍聴者が熱心に傍聴されました。次にその議☆会の概要を簡単に述べてみたいと思います。

教育施設の擴充

昭和予算に市債、国庫補助でまかなう筈であつた基山中学校々舎新築、飯小学校改築、北茂安町地籍、旭公民館本館、浜崎橋、旧及び田代小学校々地買収は、予算通りの繰越、起債が期待できず、結局元金償還から延期借入金により地元の要望に応えることになつた。

× ×

兼ねて要望されておつた旧関係五カ町村の決算は除く本議会に認定を求める運びとなり、議会では決算審査特別委員会を設けて慎重に審議した。

新市に引継かれる繰越金、八千三万四千円、滞納繰越金五百万円、短期借入金四百二十万円、短期貸付金四百二十万円、短期負債を引継ぐことになつた総額は千二十万円である。

予算総額 一億六千万円

二十九年度財源指置の変更と行政整理等による予算の中間的な仕上げとして三千五百三十八万円を追加し、四七九件、旧基山村内四二〇件、旧鳥栖村内一七五件九百四十八万余円となつた結果、予算額二億三千二百八（一億六千六百三十八万円）▲鉄道用地補償費（旧鳥栖町内一二件）▲旧鳥栖町内一二件、田代猪鹿原解散公売入札）▲農地等取扱体例一件、三件、二十九年度追加更正予算案については、消防費、特別会計二十年度決算十五件▲二十九年度一般会計追加更正予算（追加三千五百三十七万七千三円）▲国勢調査費（追加二万円）▲鳥栖民生委員費（追加十八万四千円）▲市道路付換（基山中学校々地一、六九付換）▲公有水面使用料（原田小学校運動場八〇〇坪、百五十二万八千円、田代小学校運動場八〇〇坪、百六十万円）▲住宅建設用地買収一件（基山村地内）以上

移動市役所

鳥栖市役所では市税見以来、兼ねて要望のあつた市民と直接話合うための移動市役所を実施、去月二十三日旭町を皮切りに二十四日鳥栖、翌日、二十五日基山、田代町の順で、市側より助役ほか各課長が出席して、各町の区長さん方と懇談の機会を持ちましたが、終始熱心な意見と質疑が交わされました。

なお市役所では今後も市民との距離をちぢめるためにより多くの機会を作りたいと思つております。

旭町	12日	同 支所
鳥栖	13日	同保育園
麗町	12日	同 支所
旭町	12日	鳥栖公民館
鳥栖	13日	同保育園

百日咳予防接種

該当者、初回免疫II二十九日、追加免疫II二十九日、鳥栖、麗町二十五日基山、田代町の順で、市役所を実施、去月二十三日迄の出生者、追加免疫II（一月）二月二十日から翌十二月三十一日迄の出生者

田代町	17日	門 支所
基山町	17日	麗保育園
麗町	18日	麗 支所
旭町	18日	鳥栖公民館
鳥栖	19日	麗保育園

なお、くわしくは後日報道知します。

農業体験文募集

佐賀放送局では皆さんの「農業体験文」を次の要領で募集しておりますので奮つて応募して下さい。

△募集内容

一、秋落ち、湿田、酸性土壌、新地、冷害、鳥水害病虫害などの悪い土地や機械化、密植化、共同化、その他の工夫によつて労働を合理化して増産させた体験

△応募規定

農村は専業又は兼業の農業従事者で一人で一、二枚応募できる。

原稿用紙は四百字詰二十枚以内で原稿のはじめに住所、氏名、学歴の他かぶ農業者はその職業を明記のこと。

△原稿の書き方

一、題名は簡単な経営の概要（組別に簡単な経営の概要）

二、土地改良、交換分合、作面積、家族数及び家族労働力、家畜頭数と主な作付面積）について四百字一枚以内をつけること。

△応募期限

▲締切 昭和三十年二月十日

▲送り先 佐賀放送局「農業体験文係」宛

入選発表 三月二十日

原稿募集

次号（第五号）は二月下旬四頁で発行の予定です。行事の多い月ですが、皆さんからも編集について沢山の画や宝ハの番号、意見を送りしておいて下さい。

△必ず原稿用紙使用のこと

洩れなく 住民登録を！

御家庭の皆さん、お父さんやお母さん、お兄さんやお姉さんには国会や沢山の法律が出されました。そして、僕にも私にも深い入学が出てきます。

そこで、みんながのこらず選挙や入学ができるように住民登録の届出をしていない方や転居した方は、早く市役所に届出しましょう。

かかりやすい季節

ヂフテリヤ 百日咳の予防接種

一、月に一度ジフテリヤ及び百日咳の予防接種をうけるよう次の方です。この季節にお子様が一番百日咳にかかりやすいときですから接当者は漏れなく注射をうけて下さい。（民生課）

ヂフテリヤ予防接種

該当者（二十九年一月一日から翌月三十日迄の出生者）

田代町	11日	麗 支所
基山町	11日	麗保育園

本紙が入選

昨年十一月の第二回佐賀県広報紙コンクールで県内約六〇点の中から本紙第二号が入選、賞状と記念品が贈られました。

文芸（詩）

渦

旭町 鎌倉 古賀 寛

疲れた太陽が沈み
夜が訪れる平和の巷
サタンはツエーパを脱ぐ
静人が夢に入る時
長い爪をのばし
穏呼吸をする
あの息づかい
何も知らない
善人たち——

要求

鳥栖市元町生野 山上 和利

多の闇は冷たく流れる
闇間の青空が美しい
太陽は
その起源より動かしい光
を地界に與え
常に平和の声を呼びかけ
地上の何処かで
原爆のすさまじい爆音が
鉄のカーテンにふるえる
私はこの音に、心の中まで
凍えてしまう
矢界と戦争の嫌い生命が
呼びつづける。
全ての人類が平和を叫ぶ
今
破壊への爆音は
平和の鐘が鳴い風にさえぎ
られる。
一九五五年の幕よ 平和よ そして表達！

近づく成人の日

来る十五日は、満二〇才の成人を誕え前途を祝う成人の日です。中央公民館で当日鳥栖高校職員で成人祭を行い、鳥栖中学校のブラスバンドの演奏や踊演会などを行う計画を進めております。

鳥栖市の今度の成人該当者は、約七百名（第計十五〇〇世帯（三百四分）の申込を受けました。

これは昨年本人宛お知らせしたいと思いましたが、今居も色々の角度から新生活運動を推進してゆきたいと思つております。

紙松〝で迎えた 二千五百世帯

冗費節約と綜化運動の一環として、市中央公民館では一門松〝を設置しました。

市役所事務機構一覧表

（29.12—現改正）○印は兼務及び専任

課	課長	係	係長	備考
総務	平川 孝俊	○ 財政	課長兼務	文書、秘書係を除し庶務係に包含、財政係を置き調整計を強工課へ
		庶務	吉田 信平	
		庶務	松田 元治	
税務	鍋嶋 勇輔	○ 課税	○鍋嶋	税目別係を廃し、会計係に包含、庶務係の所管へ
		○ 徴収	原 常次	
民生	原 忠興	衛生	西依	基本支所のみの保民健康保険係を市へ一本化
		社会	○大石	
		国民保険	大作	
建設	中山 九八	○○ 工事	課長兼務	土木、起業、都市計画係を別工務、事務に統合
		○ 事務	菊次	
		清掃	○佐田	
商工	猪原 米一郎	商工	迎	猪米の商工係係に統計事務を併合
		○ 統計	原田	
農林	古賀 橋蔵	農林	松隈	異動なし
会計	松隈 鶴一郎	○ 出納	課長兼務	支拂、徴収係を除し出納係に統合、特に用度係を別設
		○ 用度	天本	
選挙管理委員会事務局			山内	議会、選挙、人事、庶務

謹賀新年

新發賣
普通車 15,500円
生活車 16,000円
乗用車 19,000円
子供用（男女） 7,500円
6カ月拂
3カ月拂
鋼鉄製 全迴転部防水式
山口の自轉車
代理店・酒井商店・長崎新町・TEL435番

本年もよろしく
文具の
永文堂
鳥栖市本通り TEL 326

洋品雑貨
長谷部洋品店
今年も倍旧の御引立を
鳥栖市朝治通り
電話 三四三番

ガス熔接・車体改造
林自轉車店
鳥栖市藤木 電話575番